

教育現場からの報告——2021年度を振り返って

中等部

礼拝はやはり礼拝堂でこそ

林謙二

中等部3年学年主任



今年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響で、制約の多い学校生活を過ごしました。ただ、前年度に比べて今年度は校医先生ともよく相談しながら、少しずつでも、できる限りコロナ以前の生活に戻してきました。

2学期当初2週間の分散登校(オンライン授業併用)を除けば、45分間の授業は確保でき、定期試験も滞りなく実施できました。運動会や中等部祭も可能な範囲で生徒や担当教員が知恵を絞り、さらに充実したものができました。

一方宿泊行事については、2年裏磐梯キャンプは前年に引き続き中止、前年も中止せざるを得なかった3年沖縄旅行は通常の5月末から8月末に予定を変更しましたがその時期には実施できず、2月末に行き先を関西に代えて予定しています(2022年1月現在)。寝食を共にすることで学べるものはたくさんあり、裏磐梯キャンプに行けなかった3年生(73期)にぜひ旅行を実施させたいと願っています。

全学年テレビ礼拝だった毎日の礼拝は、10月下旬から1学年ずつの対面礼拝(他学年はテレビ礼拝)を開始しました。授業や食事をする教室ではない空間=礼拝堂での礼拝は神様に向かう姿勢が違います。落ち着いた心で神様と向き合うことができます。

神様もそのような礼拝を望んでくださっているはずです。全学年が礼拝堂に集えることを心から祈るばかりです。